

## はじめに

読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力や創造力を高め、知性や感性を豊かなものにし、子どもが人生をより深く生きるために欠くことのできない「生きる力」を身に付けていくために必要なものであり、社会全体でその推進を図っていくことが重要です。

これまでも、横浜市では、平成 18 年 3 月に『はまっこ読書プラン(横浜市子ども読書推進計画) 広げよう 本から学ぶ 豊かな世界～子どもの生きる力をはぐくむために～』を策定し、あらゆる機会や場所を捉えて、子どもの読書への意欲を向上させ、主体的に読書に親しむ習慣を身に付けられるようにするための環境づくりや、必要な支援策に取り組んでまいりました。

また、本市では、平成 22 年度から 11 月の第一金曜日を「はまっ子読書の日」と制定し、読書の啓発や学校図書館の活性化に向けた意識の高揚を図るための様々な取組を実施しています。

小学校や中学校では、朝の一斉読書活動、保護者やボランティアの方々のご協力による、図書館の環境整備や本の読み聞かせ、また、市立図書館における子ども向け行事の実施など、子どもの読書を推進するための様々な取組を展開してきています。

計画期間中においては、このような取組を通じて、子どもの読書活動の一定の推進が図られたところではありますが、引き続き、子どもの読書活動推進のためのさらなる取組が必要と考えています。

このたび、取組における成果や課題、諸情勢の変化等を検証した上で、今後の子どもの読書活動の推進に関する施策の方向性と取組を示す、新たな計画、『横浜市子ども読書活動推進計画(第二次)』を策定いたしました。

計画では、「子どもの生きる力をはぐくむ 読書習慣の定着化と読書意欲の向上」を推進目標に掲げ、横浜の地域特性に応じた、国際都市横浜にふさわしい読書活動の推進・環境整備に取り組んでまいります。

最後になりましたが、計画の策定にあたり、ご尽力いただきました、子ども読書策定委員会の委員のみなさまをはじめ、貴重なご意見をいただいた多くの市民の皆様に対し深く感謝いたします。

平成 23 年 3 月

横浜市教育委員会